

(対象期間：2020/8/3～2020/8/7)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移  
(2016年1月4日～2020年8月7日)

## 【株式市場】

3日は、新型コロナウイルス感染拡大への懸念や5日発表予定の4-6月期の国内総生産（GDP）の発表を前に外国人投資家の持ち高調整の売りに押され金融株を中心に下落しましたが、翌日は食品株の好調な業績発表などを受けて上昇しました。5日に発表されたGDPは前年同期比-5.3%と約21年ぶりのマイナスとなりましたが、市場への影響は限定的となり株式市場は続伸しました。ただし、週間では下落となりました。

2020/7/30	2020/8/7	変化率
5,149.63	5,143.89	-0.11%

【債券市場】インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2020年8月7日)

## 【債券市場】

3日に発表された7月の消費者物価指数は前年同月比+1.54%となり、2か月連続でインドネシア中央銀行（BI）のインフレターゲットの下限を下回りました。4日に行われたイスラム国債の入札は短期債を中心に好調となり、利回りはやや低下しました。週間では週初からの外国人投資家による堅調な資金流入を背景に利回りは低下（価格は上昇）しました。

2020/7/30	2020/8/7	変化幅
6.825	6.804	-0.021

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2020年8月7日)

## 【為替市場】

ルピアは対米ドルでは前週比ほぼ変わらず、対円では上昇しました。債券市場への外国人投資家の堅調な資金流入にもかかわらず、ルピアは対米ドルで上値の重い展開となりました。7日に発表された7月の外貨準備高は1,351億米ドルとなり4か月連続の増加となりました。外貨準備高は過去最高の水準となりましたが、4-6月期のGDPが1999年以来のマイナス成長となったことや国内の感染拡大への懸念などが重しとなりました。

2020/7/31	2020/8/7	変化率
0.7137	0.7210	+1.02%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。